

# 実現のための課題

「超スマート社会」の実現に向けて、課題やシステムの視点で加えるべき項目

- ・お客様からサプライチェーン含めて工場内の全てのものがつながっていくと想定されるがそれぞれのつながる部分での処理スピードを考慮する必要があるのではないか。
- ・生産の形態が各社各様（計画生産、受注生産）一部の産業を除いて、日本では多品種変量であると思うが、多品種変量生産+受注生産となった時、サプライチェーンを含めた受注予測の精度を上げる必要がある。
- ・「超スマート社会」をビジネス展開する場合のスキーム

「新たなものづくりシステム」実現の為に必要な取り組みについて重点的に取り組むべき内容としてどのような事があるか  
 国として着目して取り組むべき事柄は何か等

- ・情報レベルと製造現場をつなぐ為に、AI技術等の革新技术が今後活用されていくと考えられるが、  
 そこに行き着くまでのマイルストーンとマイルストーンに沿った技術革新の仕組みが必要である。  
 例えば、実際の現場を使っての実証実験と国主導による企業間のコーディネート。
- ・IoTが現場の装置間、装置内の機器間につながっていく必要があるが、その中で各社のコア技術の融合、開示等が必要になってくるが、オープンイノベーションをスムーズに実現させるための仕組み作りも必要（損をしない仕組み）。
- ・日本のものづくりの強みである現場ノウハウ（効率化・改善・製造ノウハウ・品質管理）の競争力強化の為に標準化（データベース化、オープン化）とブラックボックス化（クローズ化）の仕組み作り。

# YASKAWA